

事務事業名	7559 観光振興事業													
担当組織	環境経済部					経済政策課					担当	経済政策担当		
組織コード	R2	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	07	01	04	01	01	記入日	令和 2年 6月26日
	R1	15	01	00		R1	01	07	01	04	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	06 活力と賑わいを創出できるまち	● 対象 ○ 対象外
分野	03 地域資源	
施策	70 地域資源を活かしたシティセールス	
事業期間	平成12年度～令和2年度	
根拠法令 通達等	戸田市観光事業関係団体振興補助金交付要綱	戸田市シティセールス戦略
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象	観光事業を行う団体。市民及び市外からの入込客。	
事業目的	観光資源を活用することで、戸田市への愛郷心向上や集客につなげ、地元経済等の活性化を図る。また、戸田市のシティセールスを行う。	
事業内容	観光振興事業の支援 フィルムコミッション事業 戸田市観光情報館トピック管理業務	
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (水と緑の公社等)	

2. 実施結果

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
観光事業に対する補助支援					
事業費	14,524	8,286	7,745	8,286	8,286
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他	0	1	1	0
	一般財源	14,524	8,285	7,744	8,286
人件費	2,876.16	2,328.32	2,328.32	2,328.32	2,328.32
投入人員	常勤職員	0.42人	0.34人	0.34人	0.34人
	非常勤職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
事業費+人件費	17,400	10,614	10,073	10,614	10,614

指標名	単位	説明・算定式	H30目標	R1目標	R2目標
			H30実績	R1実績	R2実績
活動① 映画等撮影依頼への対応	件	撮影依頼への対応件数	190	150	150
活動② 観光情報館トピックの物品販売事業者数	者	トピックで物品販売を行っている事業者数	140	141	—
成果① 映画等撮影実績	件	撮影に至った件数	20	20	20
成果② 観光情報館トピック来館者数	人	トピックに来館された人数	18	18	—
			80	60	60
			48	54	—
			10,000	10,000	10,000
			10,847	8,730	—

目標達成状況の分析

C：活動・成果ともに達成できなかった。

<判断理由>
 フィルムコミッション事業については、件数は横ばい傾向にあり、有名なドラマ等の撮影で使われるなど、一定の成果を出しているが、目標値に及ばなかった。また、トピックについては、選挙時に期日前投票所として使用しており、選挙実施に伴い閉館となった期間が長かったため、目標達成には至らなかった。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> フィルムコミッション事業について、ここ数年市役所庁舎の利用などもあり、市の認知度向上等、シティセールスに寄与している。戸田市観光情報館トピックについては、市のイベント情報等を発信するなどしている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> フィルムコミッション事業及び観光情報館トピックの管理業務については、公益財団法人水と緑の公社に業務委託及び補助金の交付により実施しており、職員の人件費を抑えることに繋がっていることから、経費は適正な範囲であるといえる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> フィルムコミッション事業及び観光情報館トピックの管理業務については、公益財団法人水と緑の公社に業務委託等することで、職員の事務負担軽減に繋がっていることから、事業手法は適正な内容であるといえる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> フィルムコミッション事業、観光情報館トピックの管理業務ともに、運営に係る支出があるものの、シティセールスへの寄与等、市内への経済効果を考慮すると、受益・負担は適正な範囲であるといえる。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	埼玉県や福祉保健センターと調整し、コバトン健康マイレージのタブレット端末を観光情報館トピックに設置した。
見直しの効果	コバトンマイレージ利用のための来館もあり、トピックの認知度向上に寄与した。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> シティセールス戦略に貢献すべき取組みの核として、地域資源の利活用と効果的な発信は重要なことから、引き続き積極的に取り組む。
今後の取組方針	戸田市の魅力を市内外に発信することにより、戸田市の認知度を高め、人や企業を呼び込み、引き留めることにより、将来にわたりまちの活力が維持されると考える。そのため、市が単独で行うだけでなく、各団体等との協力関係を構築し、引き続き地域資源を活かした取組を実施していく。また、令和元年度に作成した市の魅力PR冊子を活用し、戸田市の魅力を発信していく。 なお、目標指標の観光情報館トピックの来館者数や物品販売事業者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大や選挙の実施等、不確定要素による閉館等により影響が及ぶことも想定されるが、目標達成に向けて積極的に取り組んでいく。

事務事業名	51206 戸田橋花火大会事業													
担当組織	環境経済部				経済政策課				担当		労働農政担当			
組織コード	R2	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	07	01	04	01	02	記入日	令和 2年 6月25日
	R1	15	01	00		R1	01	07	01	04	01	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	06	活力と賑わいを創出できるまち										○ 対象		
分野	03	地域資源										● 対象外		
施策	70	地域資源を活かしたシティセールス												
事業期間														
根拠法令 通達等	戸田橋花火大会実行委員会補助金交付要綱				関連計画 施政方針		戸田市シティセールス戦略							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	戸田橋花火大会実行委員会													
事業目的	本市の夏の風物詩として多くの方に親しまれている戸田橋花火大会を開催し、観光行政及び明るく潤いのある地域コミュニティの発展を目的とする。													
事業内容	戸田橋花火大会の開催													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (水と緑の公社等)													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額 (千円)	令和2年度 予算額 (千円)	令和3年度 計画額 (千円)	令和4年度 計画額 (千円)	令和5年度 計画額 (千円)	
	事業費		67,537	106,578	106,299	106,578	106,578	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	4	0	0	0	
	一般財源		67,537	106,574	106,299	106,578	106,578	
	人件費		9,792.64	2,670.72	9,792.64	9,792.64	9,792.64	
	投入 人員	常勤職員	1.43人	0.39人	1.43人	1.43人	1.43人	
		非常勤職員	0.2人	0.02人	0.2人	0.2人	0.2人	
事業費+人件費		77,330	109,249	116,092	116,371	116,371		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動 ①	市内経済の活性化	店	花火大会会場に出店した 市内商店数		10	0	
						12	-	
	成果 ①	協賛の獲得	者	協賛者数		190	0	
						185	-	
成果 ②						-		
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 令和2年度の花火大会については、新型コロナウイルスの影響に伴い中止を決定したため、目標を0とした。 令和3年度以降の開催について、新型コロナウイルス対策・経費削減の手法等を含め、協議・検討を行っていく。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	—	B	A	<判断理由> 戸田橋花火大会は、市内外から多くの観覧者を集め、戸田市最大のイベントとしてシティセールスに大いに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：経費は適正な範囲である。
	—	B	B	<判断理由> 有料席の販売や協賛金の収益により適正な範囲で事業が行われている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	—	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会の運営においては、会場設営や有料席の販売、警備業務等を委託することにより、職員の負担軽減に繋がっており、事業手法は適正な内容であるといえる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	—	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会の開催にあたっては、煙火費や警備費、来場者のための仮設トイレの設置、ごみ処理等の支出があるものの、有料席や協賛による収入、来場者による市内への経済効果を考慮すると、受益・負担は適正な範囲であるといえる。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 戸田橋花火大会については、一つの大きな事業として明確に進捗管理を行っていく必要があることから、令和元年度から事業を分割した。本市における重要な地域資源として、シティセールスに貢献するべく積極的に事業に取り組んでいく。
今後の取組方針	戸田市を代表するイベントである戸田橋花火大会を通じて、市内外に戸田市のPRを行うことで、観光客増加を目指し、市内経済の活性化に繋がるよう取り組んでいく。また、戸田橋花火大会がより魅力的なイベントとなるよう、新たな取り組みを研究していく。